

[連携協力協定調印式] 東北大学・(一社)日本橋梁建設協会

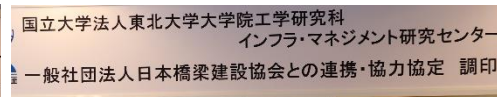
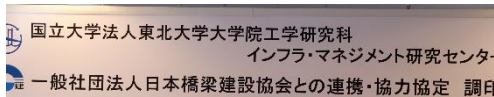
日時	2018年3月12日(月) 14:00~14:30
場所	TKP ガーデンシティ仙台 30階 コンファレンスルーム 30C
報道	(株)建設新聞社 (株)日刊建設通信新聞社 日刊建設工業新聞社
内容	東北地方の社会資本整備・維持管理に係る研究開発の推進を図り、技術の伝承並びに人材育成、安心・安全の確保、防災機能の向上、地域社会持続的発展に寄与することを目的に、相互に連携・協力する協定を締結いたしました。

状況写真



東北大学大学院
久田 真 教授

(一社)日本橋梁建設協会
出嶋 慶司 事務局長



質疑応答①



質疑応答②

平成 30 年 3 月 5 日

東北大学大学院工学研究科インフラ・マネジメント研究センター

東北大学大学院工学研究科インフラ・マネジメント研究センターと 一般社団法人日本橋梁建設協会との連携・協力協定調印式について

この度、東北大学大学院工学研究科インフラ・マネジメント研究センターと一般社団法人日本橋梁建設協会は、東北地方の社会資本整備・維持管理に係る研究開発の推進を図り、技術の伝承並びに人材育成、安心・安全の確保、防災機能の向上、地域社会持続的発展に寄与することを目的に、相互に連携・協力する協定を締結することとしました。

以下の通り、調印式を行いますのでお知らせいたします。

つきましては、ご多用中とは存じますが、当日は取材を賜り、紙面、番組等でご紹介いただけますようお願い申し上げます。取材を希望される方は、別紙資料②より 3 月 8 日（木）17 時までにご申込み下さい。なお、協定調印後、質疑応答の時間を設けております。

1. 日 時：平成 30 年 3 月 12 日（月）14 時より
2. 開催場所：TKP ガーデンシティ仙台 30 階 カンファレンスルーム 30C
(宮城県仙台市青葉区中央 1 丁目 3 番 1 号 AER 内)
3. 内 容：別紙資料①のとおり

【問い合わせ先】

東北大学大学院工学研究科インフラ・マネジメント研究センター
担当 鎌田、高橋
電話:022(721)5503
E-mail:staff-imc@ml.tohoku-imc.ac.jp

一般社団法人日本橋梁建設協会 東北事務所
担当 前田
電話:022(262)4855
E-mail:y_maeda@takadakiko.co.jp

東北大学大学院工学研究科インフラ・マネジメント研究センターと 一般社団法人日本橋梁建設協会との連携・協力協定調印式

1. 日 時：平成 30 年 3 月 12 日（月）14 時より
2. 場 所：TKP ガーデンシティ仙台 30 階 カンファレンスルーム 30C
（宮城県仙台市青葉区中央 1 丁目 3 番 1 号 AER 内）

3. 式次第：

- (1) 開 会
- (2) 出席者紹介
- (3) 挨拶

東北大学大学院工学研究科インフラ・マネジメント研究センター

センター長 久 田 真

一般社団法人日本橋梁建設協会

事務局長 出 嶋 慶 司

- (4) 協定締結調印
- (5) 質疑・応答
- (6) 閉 会

【協定内容】

この協定は、東北大学大学院工学研究科インフラ・マネジメント研究センターと一般社団法人日本橋梁建設協会が緊密かつ組織的な連携・協力の推進・強化を図るものです。

インフラ・マネジメント研究センターは、社会資本の維持管理や資源循環に関する研究成果及び諸データなどについて、一般社団法人日本橋梁建設協会は、社会資本の整備・維持管理に関する技術、防災対策について、相互に連携・協力し東北地方の社会資本整備・維持管理に係る研究開発の推進を図り、技術の伝承並びに人材育成、安心・安全の確保、防災機能の向上、地域社会の持続的発展に寄与することを目的としております。

この目的を達成するために、次のような連携・協力を図ります。

- (1) 社会資本の維持管理に係る調査、研究開発
- (2) 社会資本の維持管理に係る技術、知見の共有
- (3) 社会資本の維持管理に係る研究者及び技術者の人材育成
- (4) 研修会及び講習会への人材派遣の相互協力
- (5) その他、本協定の目的を達成するために必要な事項